教材教具の紹介②

個人用日課表

使用目的（ねらい）

・日程を視覚的に伝えることで、
　①活動に見通しを持つ。
　②予定の変更を予告する。
・不安を軽減することで、本来の活動に参加しやすくなり、課題に集中できるようにする。

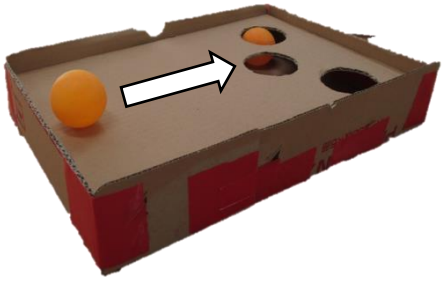
使い方

①朝、教室の日程表を見ながら、一緒に日課表を作る。
②一つ活動が終わったら、「終わり」とサインと言葉で確認して一つはずす。
③「次はなに？」と活動の確認をする。次の行動や移動先をサインと言葉、写真などで確認する。
④定着してきたら一人で使う。

材料及び作成の工夫

シンプルに、必要な情報だけが目立つようにした。終わったら、はずしてなくなる。→「最後は全部なくなる。」というわかりやすさを大切に、情報がどんどん足されてわかりにくくなることを避けた。

ピンポン玉落とし（呼気訓練）



使用目的（ねらい）

口をすぼめる・息を長く吹くなどの動きを通して、息のコントロールや発声練習につなげる

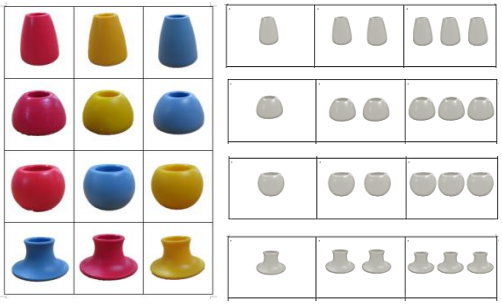
使い方

ピンポン玉に息を当てながら穴に落とす。実態に応じて坂の角度を変える。

材料及び作成の工夫

【ダンボール、ピンポン玉、カッター、ガムテープ】
　実態に応じて難易度を変えられるように、穴が開いている部分の角度を調整できるようにした。

色と形合わせカード



使用目的（ねらい）

「色と形合わせ」の活動時に使用。欲しいブロックや個数を指さしや言葉で伝えられるようにする。

使い方

カードの中から指さしや言葉（～ください／〇個ください）を使って、欲しいピースやその個数を伝える。

材料及び作成の工夫

言葉だけで伝えることが難しい子のために、補助教材として作成した。

ボタン通し

使用目的（ねらい）

・手指の操作性を高める

・１～１０まで順番どおりに通す

使い方

数字への理解や興味がある場合は、１から順に通していく。

材料及び作成の工夫

【フェルト、紐、ボタン】

フェルトで作成しているため、比較的扱いやすい。また、魚の形にしたことで興味を持って取り組んでくれることが多い。

キャラクターの弁別カード

使用目的（ねらい）

手元や教材をよく見て、キャラクターの弁別をする

使い方

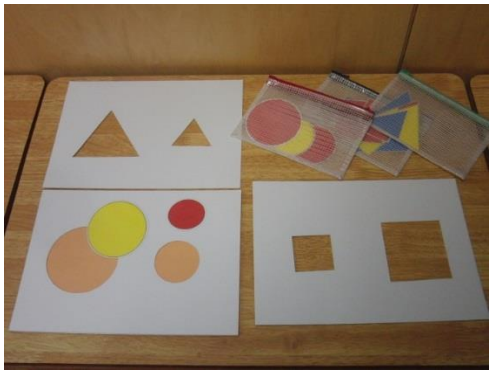
カードを１枚ずつ渡し、それをキャラクターごとにケースにいれる。

材料及び作成の工夫

【キャラクターのイラスト、発泡スチロールの板目】

発泡スチロールの板目を台紙に使用することで、手先が不器用な子でも簡単にカードが持てるようにした。

型はめ



使用目的（ねらい）

国語算数の個別学習で使用していました。〇△□の弁別、大小の識別を学習できます。

使い方

・〇△□の図形を、同じ形の場所にはめます。

・大小を区別して型にそれぞれの形をはめていきます。

材料及び作成の工夫

・〇△□の弁別、色の識別ができるか等の認知面や大小理解を促すために作成しました。

・ぴったりにこだわる子どもに使用したものだったので、あえて余りがあるようにしました。

行事の流れ（卒業式Ｖｅｒ.）

使用目的（ねらい）

行事への見通しが持てるようにと思い、作成しました。

使い方

・基本的には見て一緒に確認します。分かりにくいところは、指差しして伝えます。

・終わった項目は線を引いて終わったことが分かるようにします。

材料及び作成の工夫

・アナログ表示を用意することで、体育館での時間の確認がしやすく、かつ分かりやすくしました。

・写真はメインの活動や、目立つ場面、人を入れることで、理解しやすくしました。

・折りたたんで使えるよう、大きさ、構成を工夫しました。

金種（硬貨）の確認表

使用目的（ねらい）

国語算数の個別学習で使用していました。金種（硬貨）の識別を学習できます。

使い方

・金種の写真を見て、ラミネート加工した金種を、隣の枠内にはめます。

・金種の組み合わせた物も用意し、初歩の「合わせていくらか」も学習できるようにしました。

材料及び作成の工夫

・金種（硬貨）の識別ができるか等の認知面や初歩の「合わせていくら」を理解しやすいように本物の写真にこだわって作りました。

・本物のお金の方が親しみやすく理解しやすいのですが、管理の問題から紙面をラミネート加工して工夫しました。

しましまボール

使用目的（ねらい）

・ボールの動きを目で追いやすくする。

・自分とボールの距離感を取りやすくする。

使い方

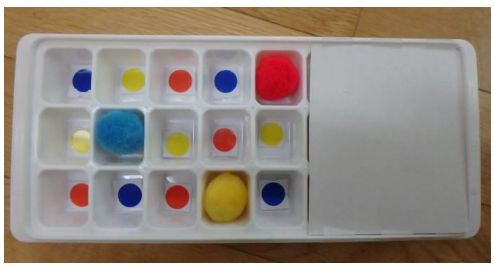
ボール運動全般（投げる・取る・蹴るなど）で使用

材料及び作成の工夫

・ボールを追いやすいように、黄色の地に黒いテープを巻いて使用した。

・見えやすくなったことで、子ども自身が自分からボールに触る場面が多くなった。

ボールの色分け



使用目的（ねらい）

・枠とボールの色を見比べて取り組む。

使い方

・ボールと同じ色の枠を見つけて、ボールを入れる。

材料及び作成の工夫

・色の配置を変えられるように、シールを貼った台紙を枠に入れるだけにした。

・１００円ショップでそろう材料ばかりなので、手軽に作ることができる。

プットイン

使用目的（ねらい）

・手元を見て取り組む。

・両手を使った活動をとおして、操作性の向上を図る。

使い方

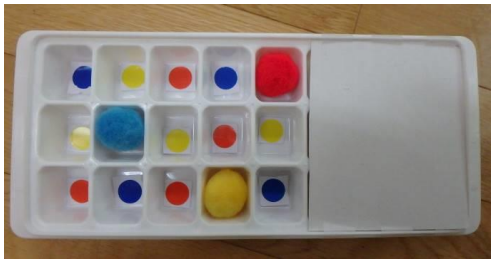
片方の手でケースを持ち、木のペグを入れる。

材料及び作成の工夫

・紙製のケース（ポテトチップスの容器）で作ったため、穴があけやすかった。

・上におはじきが入る穴をあけ、２通りのプットインが１つの教材でできるようにした。

ボールの色分け



使用目的（ねらい）

・枠とボールの色を見比べて取り組む。

使い方

・ボールと同じ色の枠を見つけて、ボールを入れる。

材料及び作成の工夫

・色の配置を変えられるように、シールを貼った台紙を枠に入れるだけにした。

・１００円ショップでそろう材料ばかりなので、手軽に作ることができる。

オーガンジー入れ

使用目的（ねらい）

・指先や体全体を使った動きを引きだす。

・見るべきところに気持ちを向けやすくする。

・手元を見て布を引き出したり入れたりする。

使い方

・指でつまんでオーガンジーをひっぱる。

・両手を使ってオーガンジーをしまう。

材料及び作成の工夫

・手に入りやすく穴が横に広いティッシュの箱を使うことで、少しの力でも自分だけで取り出したりしまったりしやすくした。

ふきんたたみ

使用目的（ねらい）

・手元を見て取り組む。

・色のマッチング

使い方

①布巾の端にあるスナップボタンを留める。

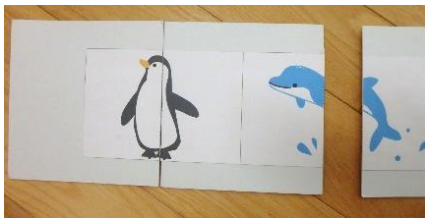
②４つ折にして丸める。

③布巾と同じ色の紙コップに入れる。

材料及び作成の工夫

手元を見て作業するために、凹凸の面を見て留めるスナップボタンを使用した。

つながるパズル



使用目的（ねらい）

友だちと協力してパズルをつなげる。

使い方

黒板に貼り、絵柄を合わせてつなげる。

材料及び作成の工夫

・児童の興味関心のあるキャラクターを取り入れた。

・果物や動物など、カテゴリーの理解にもつながるようなイラストを選んだ。

売上表

使用目的（ねらい）

いくつ製品が売れたかを確認し、完売までの見通しを持つ。

使い方

・製品が１つ売れたらマグネットを１つずつ貼っていきます。50個売れたらゴール！（完売）

材料及び作成の工夫

作業班（エコ班）になじみのあるペットボトルキャップを、ホットボンドで磁石に貼り付けただけ！「きっと完売する！」と信じて、完売をゴールと設定してつくっています。実際の頒布のときには生徒がこの表を見ながら「残り限定〇個です！」と呼び込みに活用していました。

果物の木

使用目的（ねらい）

手を伸ばして対象物をつかみ取る。

使い方

枝に付けられた網の部分に果物（模型でも、本物でも。）のひもを通せば準備完了！ひもの通し方で、必要な力を調整できます。

材料及び作成の工夫

「果物狩り」のセットには色々な種類（洗濯ばさみやマジックテープなど）があると思います。今回のものは、“意識して対象物に手を伸ばし”、“ほどよい少しの力で取ることができる”ことに主眼を置いて作成しました。網部分は 100 円ショップの鉢底ネットを切って縫い付けています。

手首を上手につかってすくおう

使用目的（ねらい）

手首を上手に使えるようになる。

使い方

おたまを使って、スーパーボール・米などをすくう。子どもによって、２回すくう、器の線まですくうなど、課題を設定して行う。

材料及び作成の工夫

・お米に色をつけるなど、子どもが興味を持つようにした。

・お米、パチンコ玉、スーパーボールなど、様々な形、重さのものを用意し、課題に応じて選べるようにした。

姿勢補助具（にしん）

使用目的（ねらい）

座位保持が難しい生徒が身体を起こし続けるため。

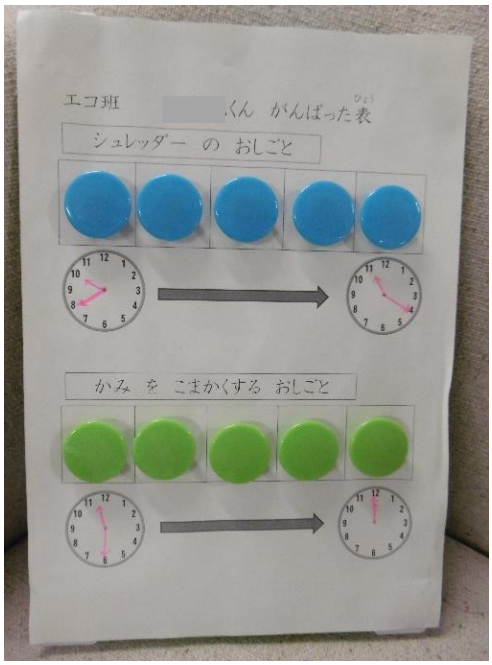
使い方

生徒が抱える。

材料及び作成の工夫

60 センチ四方のジョイントマットを丸め、模造紙を巻いた。ソーラン節で使うので、「にしん」を模した。

見通しをもって活動する



使用目的（ねらい）

生徒が主体的に取り組める

使い方

終わったら、磁石をはずしていく。

材料及び作成の工夫

お子さんによって、どんな方法が適しているのかを判断することが大切だと思っています。今回は、この方法によって、とある生徒は、みるみる主体的になりました。

足型マット

使用目的（ねらい）

行動を促す。

使い方

マットの上で着替えるということの因果関係を示すために使用した。

材料及び作成の工夫

着替える場所がレザークラフト室になり、「着替え」という行動が滞ってしまった生徒がいました。そのため、場所にポイントを置くのではなく、「マットの上」を定着し、主体的に行動できるよう促しました。段階としては、個室に入りマットの上で着替える→少し広い所でマットの上で→レザークラフト室でもマットの上で…。

写真パズル

使用目的（ねらい）

・自分で決めた活動を遂行する。

・ヒントを聞いてパズルを完成させる。

・手指の巧緻性を高める。

使い方

いたってシンプルなパズルです！

材料及び作成の工夫

生徒が好きなテーマの写真（生徒と相談して決めました。）をラミネート加工し、切っただけ！ただし切り方は、文字列やロゴマークの部分に切れ目を入れるなど、「言葉のヒント」が入れやすくなるように計算しています。

ちょうちょ結びの練習

使用目的（ねらい）

ちょうちょ結びの習得。

使い方

ひもを結ぶ。

材料及び作成の工夫

実際のものに合わせてイメージできるようにしました。

改札

使用目的（ねらい）

ＩＣカード（Suica など）や切符の利用を、実際に即して行える。

使い方

普通の改札のように設置。ただし、改札のバーは手動。

材料及び作成の工夫

某先生と二人で協力して作りました。冬休み、午前中いっぱいかかりました。

文章の達人セット

使用目的（ねらい）

助詞を上手に使えるようになる。それを軸に接続詞や形容詞にも興味を持てるようにする。

使い方

①絵カードを見て何をしているか答える。

②正しく言えたら文章を書く。このとき助詞は強化・強調するために、あえてカードを貼る。

③正しく言う・書くことができたらほめる！！

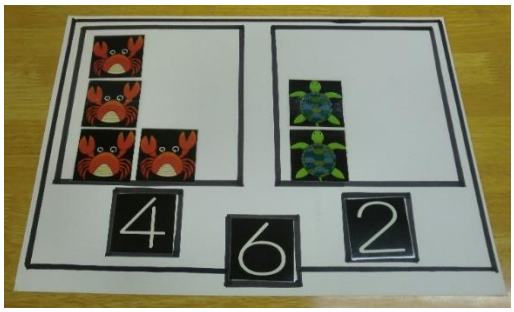
材料及び作成の工夫

・新たなことを教えるのではなく、子どもたちが持っている力を引き出すように、称賛する。

・子どもたちが分かる絵カードや写真を使用する。

・子どもたちができるようになって自信を持つと、自然と「パクパク」「クルクル」などの表現を使ったり、書いたりできるようになってきますよ～♪

あわせると？わけると？



使用目的（ねらい）

・国語・数学で使用している。

・数の合成・分解について、具体物の操作をを通して、理解していく。

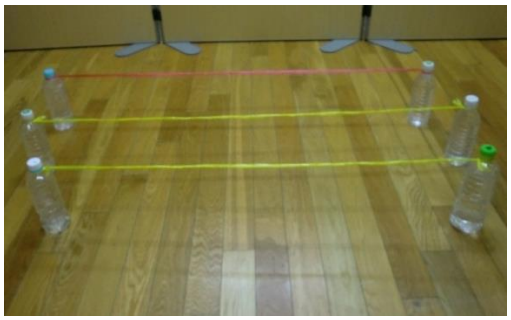
使い方

・左図であると、かにとかめがあわせて何匹いるか、もしくは、全体の数をいくつといくつにわけられるかを具体物と数の操作で伝えていく。

材料及び作成の工夫

・確かな数の概念を獲得したり、“足し算”“引き算”に具体的なイメージを持ったりすることってすごく大切ですよね！そんな実態の子のためにつくりました。あえて、暗転しています。

ペットボトルハードル



使用目的（ねらい）

・中学部、体育の跳躍運動の際に使いました。

・正しい姿勢で走ったり、さまざまな動きにつながる両足跳躍をしたりするための教材です。

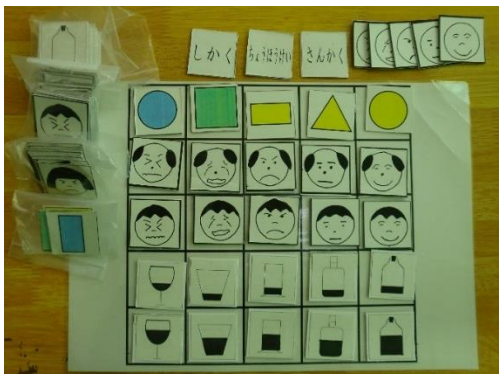
使い方

ひとつひとつ跳び越えたり、４～５個をまとめて置いて遠くに跳んだりして“またぐ”“遠くに跳ぶ”等を意識させる。

材料及び作成の工夫

走ったり、跳んだりする時の足の動かし方をイメージすることって難しいですよね。目で見て、その距離感や高さにイメージを持って取り組めるように作りました。置いていく数で実態に合わせた距離感を設定できます。

マトリックス



使用目的（ねらい）

・縦軸と横軸の関係性を理解し、情報を整理していく力を高める。

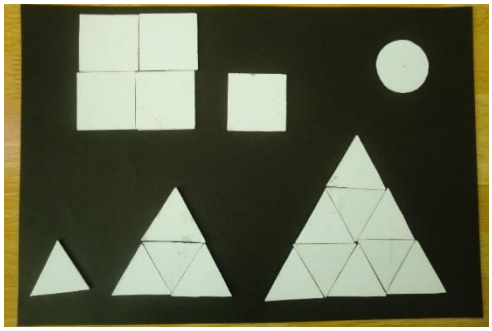
使い方

同じ“色”“量”“形”等の属性に注目し、表を埋め、教員が指差したパネルついて言葉で説明する。例「きいろいまるです」「おとこのこがないています」など

材料及び作成の工夫

使い方は同じですが、中身のパネルを替えていくことで、いろいろ考えさせることができます。色と形だったり･･･量だったり･･･表情だったり･･･情報を読み取っていくことって難しいし、それを言葉にしていくこともさらに難しい･･･！それを操作しながらできていくといいですね。

パズルで学ぼう。



使用目的（ねらい）

〇△□のピースを使い、形作りをしていく中で、大きさの違いに気づいていく。

使い方

教員が提示したものと同じ形や大きさでピースを組み合わせる。

材料及び作成の工夫

ピースの数で量の比較ができます。上の図でいうと、“中くらい”を理解していくことが難しいようです。暗転をして、見た目としても、操作しやすく配慮しました。

２Ｌ６本いりの箱！

使用目的（ねらい）

・ボディイメージを高める。

・体幹や身体部位をバランスよく扱っていく。

使い方

２個～５個（実態によって）のダンボールを両側からはさみこみ、その状態を維持したまま、身体をひねったり、反ったりする。

材料及び作成の工夫

ただのダンボールですが、このペットボトル２Ｌ６本入りの大きさがいくつかあると多様できますよ！上記のように個人で扱っても、両端からペアで挟みこんでも、いろいろと意識することができます。

返るフラッグ

使用目的（ねらい）

・正中線（体の中心の線）を越える身体部位の動き。

・自分なりの表現で楽しみながら手具を扱う。

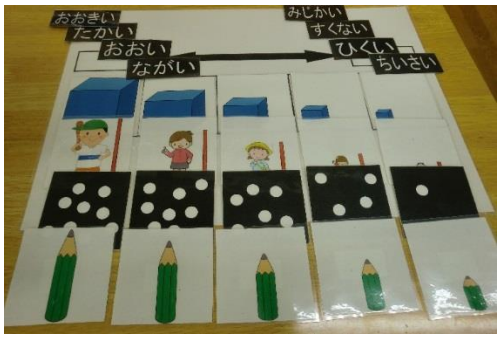
使い方

音楽に合わせて、フラッグを扱う。その際、正中線を越える動きを特に意識して、身体部位を動かしていく。

材料及び作成の工夫

いくらまわしても、旗がからまず、戻ってきます。なので、楽しく、グルグルまわせます。その中で、正中線を越える難しいうごきなどにせまれるとよいかなと思います。

ならべよう！！



使用目的（ねらい）

ものごとをひとつの要素に注目して比べる。（系列の思考）

使い方

ものごとの要素（おおきさ、ながさなど）に気づいて、その順序通りにカードを並べていく。

材料及び作成の工夫

数字を使った数の学習が入りにくい子って、意外とこういうところ弱いですよね･･･。目で見てわかるものから、“イメージが定着してない”と並び替えられないものまで、いろいろと考えながら、操作できるといいなと思います。

グルグルまわして！

使用目的（ねらい）

・目と手の協応の力を高めていく。

・手掌の正しい使い方を学ぶ。

使い方

てのひら全体でしっかりと棒を握ります。その状態で棒をグルグルまわし（指先ではまわさない）、ひもの先端を容器の中にいれます。よくみながら調整していきます。

材料及び作成の工夫

よく見ながら、手先の動きを調整していくことってすごく大切ですね！ひもの先端は“どらやき”、容器のそこには“どらえもん”！楽しくどらやきを上げ下げしてました。よく見ること、手掌の正しい使い方を楽しみながら、学んでいきます。

地図で学ぼう！

使用目的（ねらい）

・ある物事を中心にした空間認知（今回は走らせるミニカーを基準にした左右等）を考える。

・順序を理解する。

使い方

・教員が提示した道順どおりにミニカーを走らせる。

・指定された始点から終点の道順を説明する。

材料及び作成の工夫

自分を基準にした空間認知を把握できても、その基準がかわるとあっという間に左右がわからなくなる子って多いですよね。ミニカーの進行方向によって左右が変わるので、楽しみながら学んでいます。道順は順序数の学習としても有効かと思います。